

# I. 事業のねらいと全体構図

## 1. 地域の課題

多くの商店街がイベントやポイントカードなどのソフト事業に取り組んでいますが、一時的に人を集めても個店の継続的な売上げ増加に結びつかず、継続的な効果が薄いのが多くの商店街の実情です。その原因としては、商店街が地域住民のコミュニティとしてのニーズに応えられていない、期待する商店街像と現状が異なっていることが考えられます。また店主の高齢化や売上不振等により廃業する商店が増える一方で、大手チェーン店の出店により、面としてのつながりが薄れている点もあげられます。

しかしながら、遠方まで出かけられない高齢者はもちろんのこと、若い層にとっても地域での触れ合いや参加の場を求める潜在的ニーズは根強く、地域において商店街の果たすべき役割は依然として大きいと考えます。

## 2. 事業の意義・必要性（ねらい）

商店街がコミュニティとして地域住民の期待に応えるためには、まず、立地商圈の商業状況や地域住民の顕在的・潜在的ニーズを把握し、地域住民にとって存在価値のある商店街のコンセプトを確立する必要があります。

ただ、現状の商店街は、資金面、人材面（時間）、ノウハウ面で制約が多く内部リソースだけでは、コンセプト作りに必要な立地商圈の商業状況や地域住民の顕在的・潜在的ニーズ調査を行うことは難しいと思われます。

一方、経験や技術が豊富で地域に繋がりを求める団塊世代のアクティブシニア層が増えています。

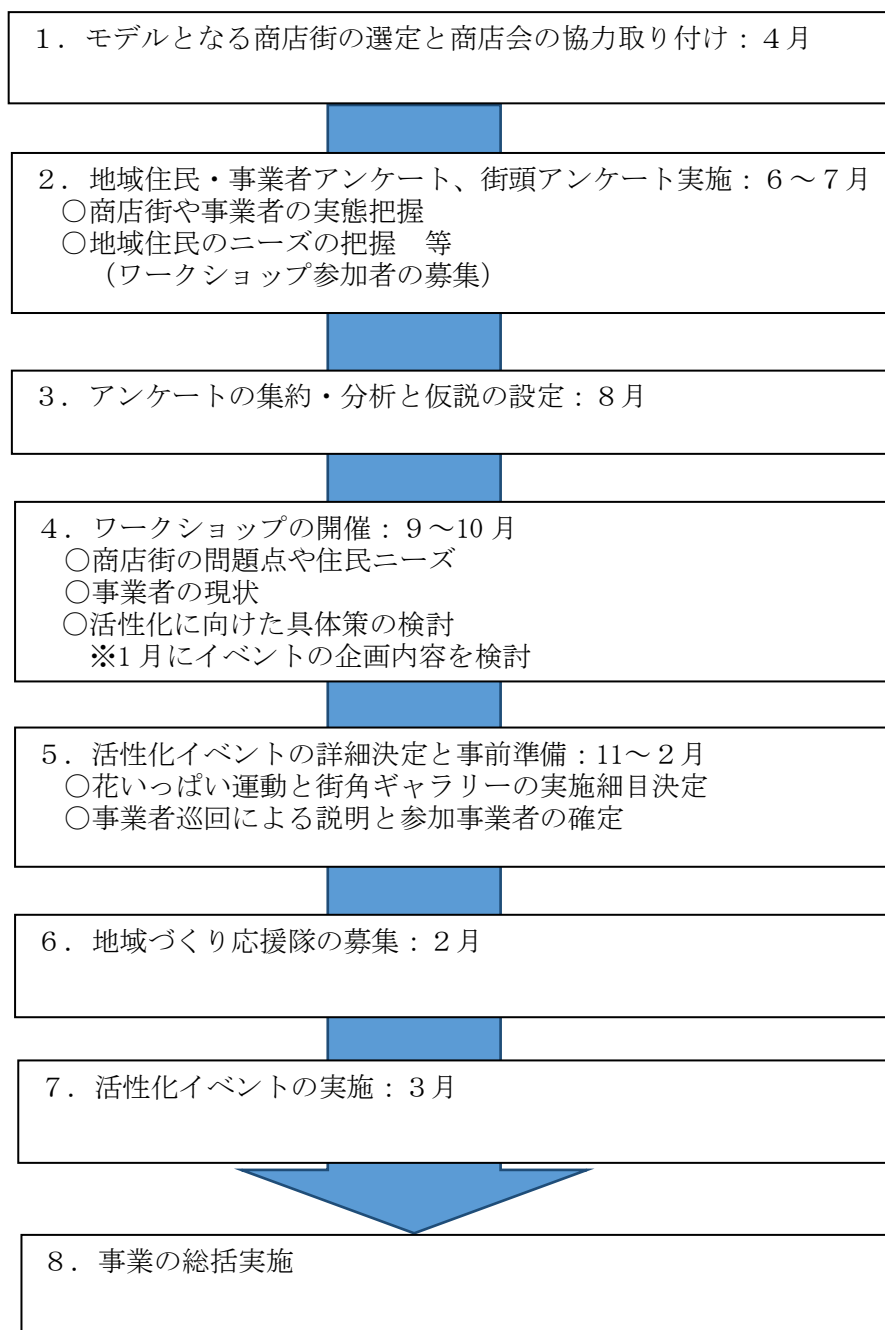
そこで、本事業では商店街の事業者およびその周辺の住民に対してアンケート調査を実施します。その調査の分析結果などを材料として「地域住民と商店会の双方にとって存在価値のある商店街とはどのような商店街か」、また、「そのような商店街を作るにはどのような取り組みが必要か」等について、アクティブシニア層や主婦、学生などの地域住民と事業者とがオープンに議論出来る「場」「仕掛け」を提供します。

そのなかで出された意見やアイデアを形にし、メンバーも主体的に応援参加する商店街でのイベント等を実施します。

こうした取り組みを通じて市内の他商店街でも参考にできるモデル事例を作り、今後、空き店舗を活用した新たなソーシャルビジネスや地域住民が主体となった地域づくりの取組へと発展していくことを期待するものです。

### 3. 事業の全体構図

次のとおり段階的に事業を展開しました。



## Ⅱ. 取り組みの経過

### 1. 対象商業エリアの選定

#### (1) 市内商業集積の基礎データによる分析

本事業はモデル事業の位置づけであり、まず対象地域の選定にあたって、市内商業集積を10か所とし、商業統計や国勢調査などのデータを使いながら活性化度の評価を試みました。

評価指標として設定したのは以下の6項目であり、さらに、参考として高齢化度（半径800m圏内住民のうち65歳以上が占める割合）を付け加えました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①年間商品販売額増減と市内平均との比較</li><li>②小売り事業所数の増減率と市内平均との比較</li><li>③売場面積増減率と市内平均との比較</li><li>④半径800m圏内住民一人当たりの年間商品購買額</li><li>⑤大規模小売店舗を除く小売店舗の一世帯当たり商品購買額</li><li>⑥大規模小売店舗の有無</li></ul> |
|--|

さらに、地域活性化の活動拠点となる公共施設の有無や担い手の一つとして期待される大学等教育機関、その他「憩の空間」といった地域資源の有無についても整理しました。集計結果は次ページ【表-1】のとおりです。

#### (2) 対象となる商業集積の選定

上記分析をもとに候補を4つに絞り、商店会長に対するヒヤリングなどを実施しました。ヒヤリングのなかで出された各商店街の実態や特徴的な意見は以下のとおりです。

##### 【商店街の実態や課題】

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○大型店が集客しており、駅の乗降客も多いが、個店は集客に苦労している。</li><li>○空き店舗はあるが、店舗兼住宅となっており、空き店舗のままの状態が続いている。</li><li>○空き店舗はあるが、店舗兼用ではないため、1カ月程度で埋まる。</li><li>○駐輪・駐車場、トイレの設置ができないかが商店街の課題である。</li><li>○商店会活動は一部の役員のみが頑張らざるを得ない状態である。</li><li>○イベントは夏と冬の売り出しに的を絞ってやっている。</li><li>○会長は若く、役員会も機能している。</li><li>○大学生に手伝ってもらえることはあるが、単なる労働力という範囲で止まっている。</li></ul> |
|--|

【表－１】小平市内商業集積 10 地域の基礎データ比較

評価指標		一橋学園駅西部	たかの台駅周辺	小川駅西口地域	花小金井駅北口地域	花小金井駅南口地域	
1	各商業集積の年間商品販売額増減率と小平市平均との比較	数値	0.97	0.98	0.74	1.16	2.65
		順位A	8	7	9	4	1
		順位B	5	4	6		1
2	各商業集積の全小売事業所数増減率と小平市平均との比較	数値	0.97	0.88	0.99	1.14	1.28
		順位A	8	9	7	3	1
		順位B	5	6	4		1
3	各商業集積の売り場面積増減率と小平市平均との比較	数値	0.89	0.63	0.81	1.43	1.43
		順位A	6	9	8	1	1
		順位B	4	6	5		1
4	半径800m圏住民一人当たりの平成19年度年間商品購買額(K¥)	数値	144.4	84.9	159.4	563.1	143.2
		順位A	5	9	4	1	6
		順位B	2	6	1		3
5	大規模小売店舗を除く小売店舗の平成22年度世帯当たり商品購買額(K¥)	数値	306.1	195.1	367		341
		順位B	3	6	1		2
6	大規模小売店舗の有無		×	×	×	○	×
7	順位合計	順位A合計	27	34	28	9	9
		順位	7	9	8	1	1
		順位B合計	19	28	17		8
		順位	4	6	3		1
8	半径800m圏住民のうち65歳以上の高齢者が占める割合(%)@H17年国勢調査	数値	17.2	21.1	18	17.8	15.9
		高齢化順位	8	1	6	7	9
11	地域資源	公共施設	学園西町地域センター 都営松ヶ丘集会所	体育館	西部市民センター 仲宿地域センター	東部市民センター 都合同庁舎 多摩小平保険所	花小金井南公民館
	大学等教育機関	一橋大学	武蔵野美術大学 白梅学園短大 朝鮮大学校 津田塾大学	職能開発大学校		嘉悦大学	
	文化施設	平櫛田中館 津田公民館図書館	下水道記念館	プリジストン倶楽部			
	憩いの空間	四小東公園 角公園	小平中央公園 玉川上水	都立東村山中央公園 森林公園	東部公園 円成院	グリーンロード	
	注)	評価指標1～3:平成14年商業統計データと平成19年商業統計データとの比較による増減率 評価指標4:人口データは平成17年国勢調査のデータによる 順位A:大規模小売店舗を有する3商業集積地域を含み10地域内の順位 順位B:大規模小売店舗を有する3商業集積地域を除く7地域内の順位					

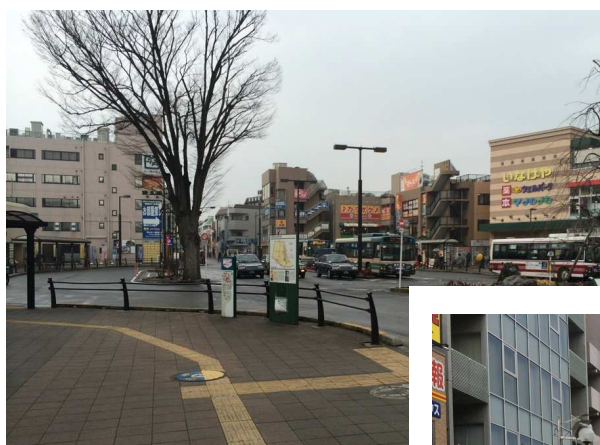
			2013年3月時点				
評価指標			光が丘通り地域	小平団地北部	一橋学園駅東部地域	小平駅北口周辺	小平駅南口周辺
1	各商業集積の年間商品販売額増減率と小平市平均との比較	数値	1.07	1.55	1.16	0.33	1.23
		順位A	6	2	4	10	3
		順位B	3	2		7	
2	各商業集積の全小売事業所数増減率と小平市平均との比較	数値	1.15	1.12	1.01	0.71	1.13
		順位A	2	5	6	10	4
		順位B	2	3		7	
3	各商業集積の売り場面積増減率と小平市平均との比較	数値	1.1	1.39	0.82	0.41	1.14
		順位A	5	3	7	10	4
		順位B	3	2		7	
4	半径800m圏住民一人当たりの平成19年度年間商品購買額(K¥)	数値	58.4	134.7	456.7	101.9	335.9
		順位A	10	7	2	8	3
		順位B	7	4		5	
5	大規模小売店舗を除く小売店舗の平成22年度世帯当たり商品購買額(K¥)	数値	148.1	292.3		250.3	
		順位B	7	4		5	
6	大規模小売店舗の有無		×	×	○	×	○
7	順位合計	順位A合計	23	17	19	38	14
		順位	6	4	5	10	3
		順位B合計	22	15		31	
		順位	5	2		7	
8	半径800m圏住民のうち65歳以上の高齢者が占める割合(%)@H17年国勢調査	数値	15.8	18.9	18.7	18.8	20
		高齢化順位	10	3	5	4	2
		公共施設			小平市役所福祉会館	多摩済生病院	御園町地域センター
10	地域資源	公共施設			小平市役所福祉会館	多摩済生病院	御園町地域センター
		大学等教育機関	嘉悦大学	関東管区警察学校 国土交通大学校 文化女子大学 情報通信研究機構			
		文化施設					小平市民文化会館
		憩いの空間	筈公園 グリーンロード 延命寺 小平ふるさと村	つつじ公園		小平霊園	アジサイ公園

### 【イベントや本事業に対する意見】

- 遠方からの来街客は多いが、商店街の売上げにつながらずメリットがないためやめた。
- イベント支援には期待していない。むしろ商店街の課題解決の相談に乗ってもらいたい。
- 商店会として計画済みの事業があり、今回の事業は受けられない。
- 地域との連携は重要であるが、隣接する商店会との一体感は薄く、逆に会員間の軋轢が生じる懸念がある。

上記ヒヤリング結果をもとに改めて商店会とも協議を行った結果、最終的に「花小金井北口地域」を事業の対象先として選定しました。主な理由は以下のとおりです。

- ①食品スーパー（いなげや、西友）が2店舗ある点が大きいが、上記集計の結果第1位となっている。
- ②バスへの乗換客の比率は高いが、市内で一番乗降客が多い西武新宿線「花小金井駅」の駅前にある。
- ③地域活性化に積極的に取り組む嘉悦大学があり、事業を実施する際、学生等の協力が期待できる。
- ④市内でも比較的規模が大きく、約100店舗が加盟する地元商店会である「商栄会」の理解が得られた。



## 2. 実態把握（アンケートの実施）

### (1) 実施内容

事業者や住民の実態や意識を把握するため、以下の3種類のアンケート（全て無記名）を実施しました。

<b>【事業者アンケート】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆実施期間：平成 25 年 6 月中旬～6 月末</li><li>◆対象：商栄会会員および花小金井駅北側半径 800m 圏内の非会員事業者（商業・サービス業、医院）</li><li>◆方法：訪問し依頼、後日料金後納郵便で返送または再訪問し回収</li></ul>
<b>【住民アンケート】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆実施期間：平成 25 年 6 月中旬～6 月末</li><li>◆対象：花小金井駅を中心に半径 800m 圏内の無作為抽出した 500 世帯</li><li>◆方法：訪問依頼またはポストに投函し料金後納郵便で返送</li></ul>
<b>【街頭アンケート】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆実施期間：平成 25 年 6 月 30 日（土）</li><li>◆対象：花小金井駅北口来街の一般市民 100 名</li><li>◆方法：任意の 100 名にアンケート</li></ul>

注) 1. 事業者は商栄会の会員・非会員に分けて実施した（設問の一部変更）  
2. 料金後納郵便のあて先は「小平市役所産業振興課気付 t n c 中小企業支援センター「いきいき協働事業」担当行」とした。

### (2) 回収状況

内 容		配布数	回収数	回収率
事業者アンケート	商栄会会員	1 0 4	4 8	4 6 %
	〃 非会員	9 7	4 3	4 4 %
住民アンケート		5 0 0	1 0 0	2 0 %
街頭アンケート		1 0 0	—	—



【街頭アンケートの様子】

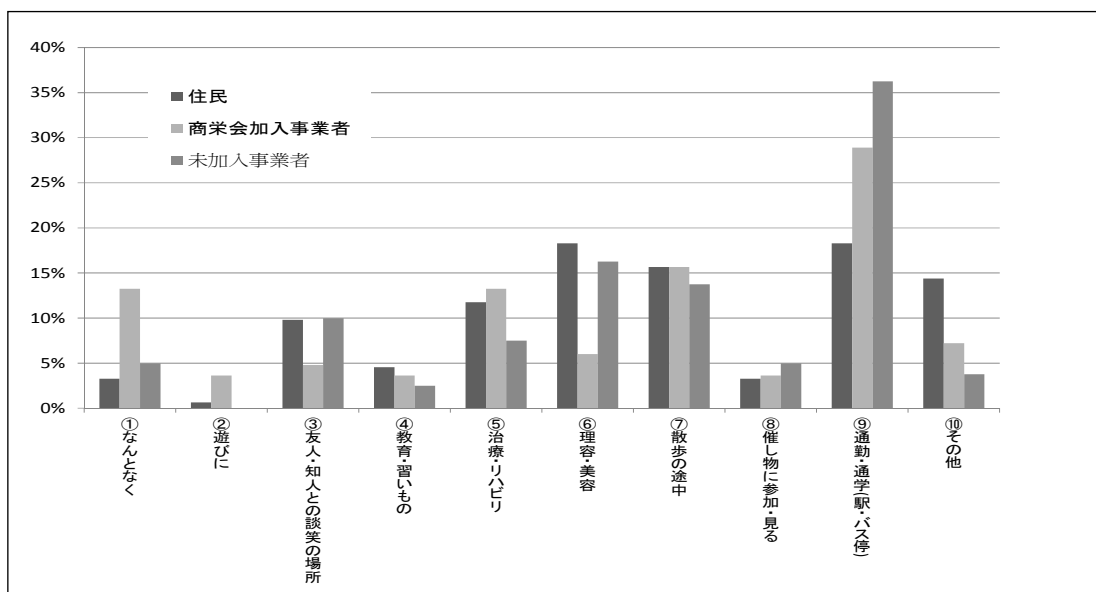
### (3) アンケート結果（抜粋）

詳細は、付属資料に掲載しますが、特徴的なものは以下のとおりです。

#### 【共通設問】（事業者・住民および一部来街者アンケートでの共通設問に対する回答）

##### ①買い物・飲食以外の来街目的

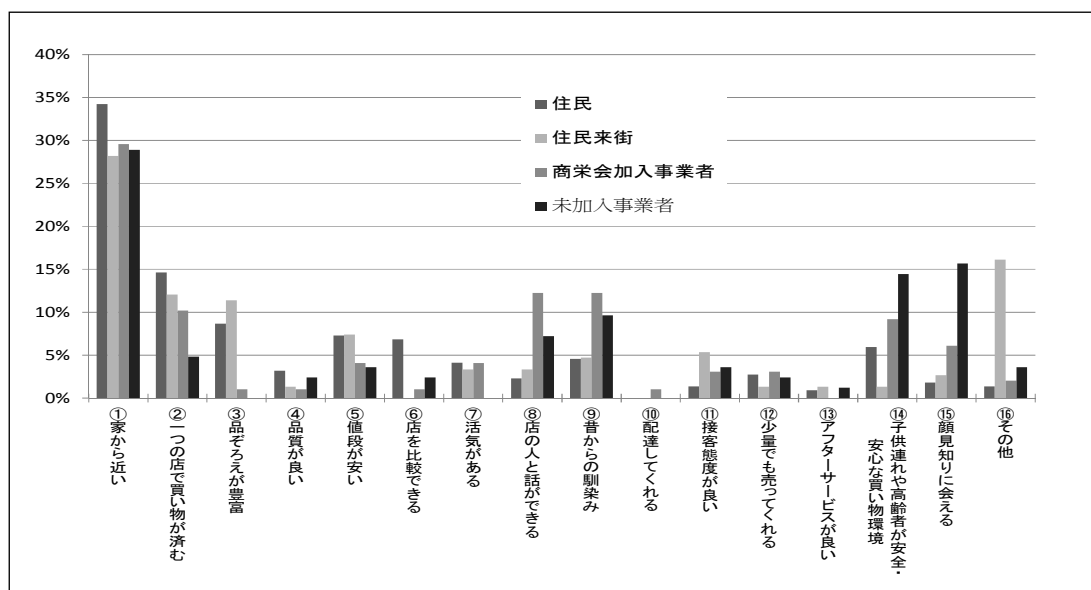
住民、商栄会加入者・非加入者とも第1位は「通勤・通学」であるが、住民と事業者が考える比率とは大きな開きがあります。「理容・美容」、「散歩の途中」が住民の第2位、第3位となっています。



##### ②良いところ

各者とも「家から近い」が第1位の理由となっています。

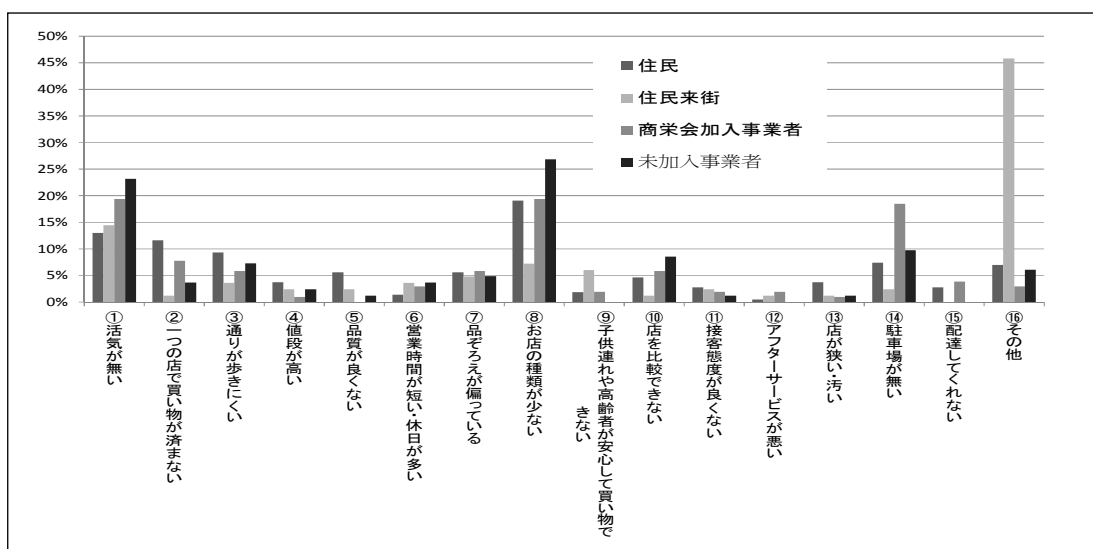
「事業者との会話」や「昔からの馴染み」、「安心・安全な買物環境」については、事業者は2番目に高い回答になっていますが、住民の回答は低い順位です。





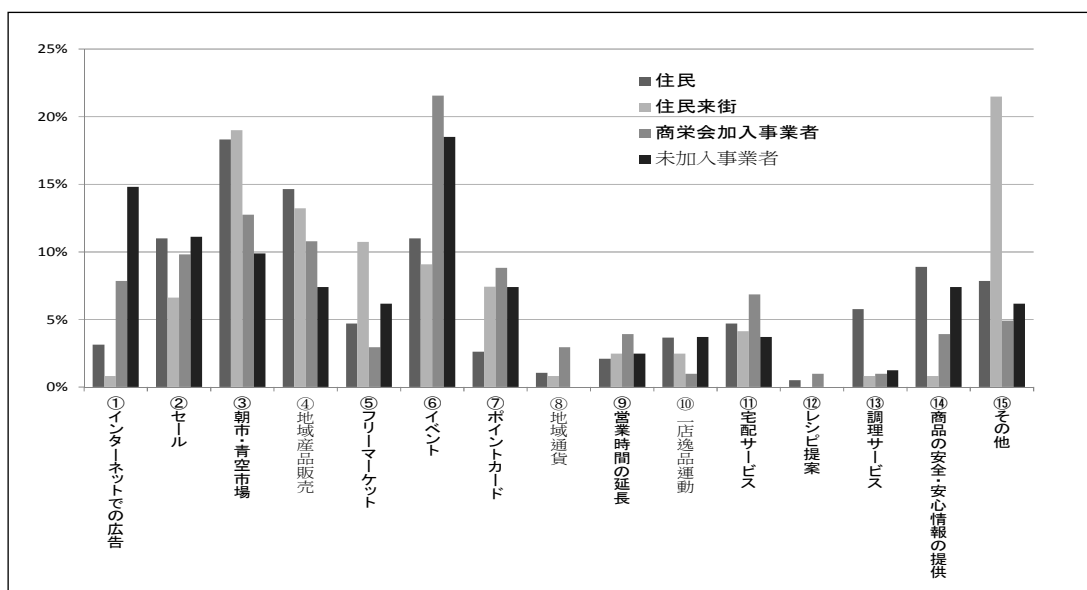
### ③問題点

住民、商栄会加入事業者・未加入事業者は、「お店の種類が少ない」が第1位、来街者の第1位は「その他」で、事業者と同様に住民、来街者も「活気が無い」点を第2位に挙げています。「駐車場が無い」点については、事業者（特に商栄会加入事業者）と住民との順位に開きが大きくなっています。



### ④商業者が力を入れるべき点

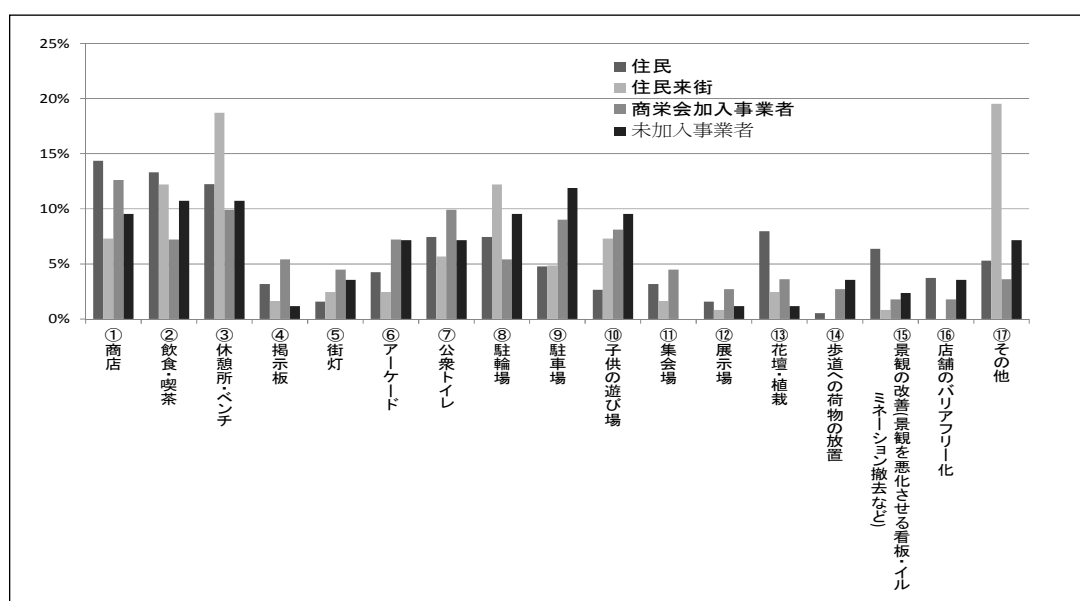
住民は、「朝市・青空市場」が第1位、商栄会加入事業者・未加入事業者は、「イベント」が第1位、来街者は「その他」が第1位である。住民の第2位は「地域産品販売」、第3位は「セール」が続いています。



⑤あれば便利な施設

住民、商栄会加入事業者は「商店」が第一位、未加入事業者は「駐車場」が第1位、来街者は第1位の「その他」に続き「休憩所・ベンチ」が第2位となっています。

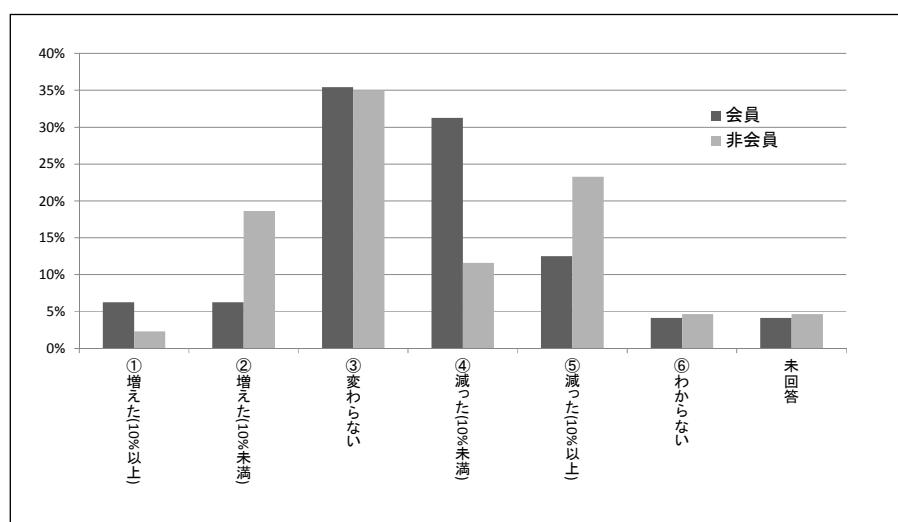
住民の第2位は「飲食・喫茶」、商栄会加入事業者は「休憩所・ベンチ」「公衆トイレ」が同数です。



【事業者アンケート】(個別項目：抜粋)

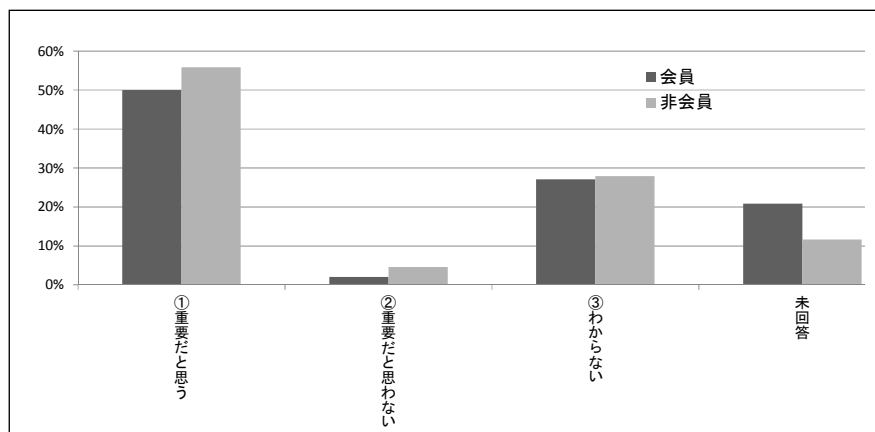
①売上高の増減

商栄会の会員・非会員ともに「減った」(10%未満と10%以上の合計)との回答が「変わらない」を大幅に超えています。



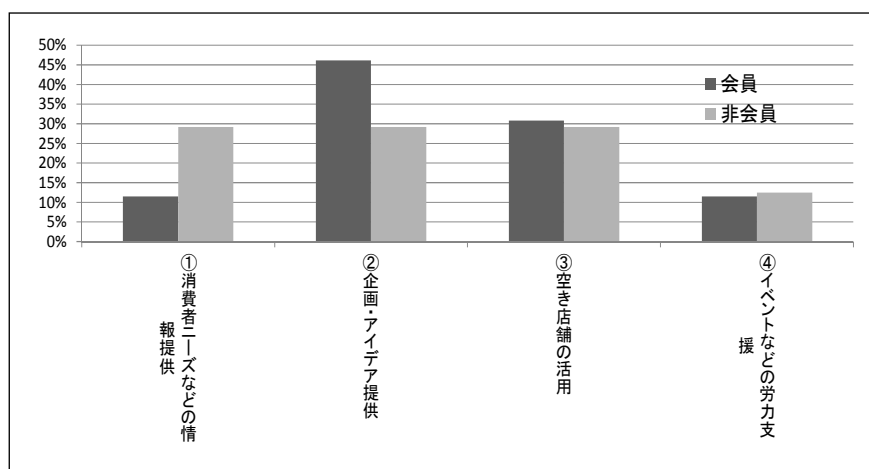
## ②地域との連携への意識

「重要だと思う」という回答が50%を超えており、「重要だとは思わない」はわずかです。



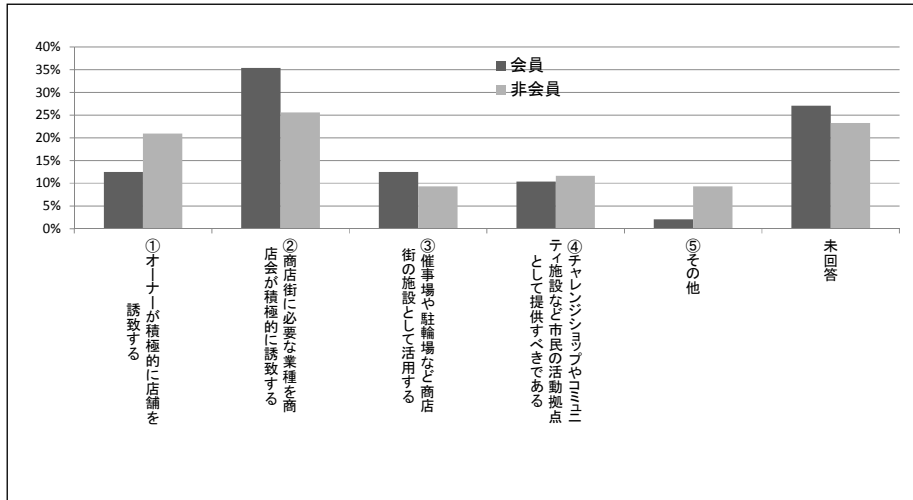
## ③連携に期待するもの

「企画・アイデア提供」が第1位となっています。しかしながら、商栄会非会員では「消費者ニーズなどの情報提供」、「空き店舗の活用」が同数です。



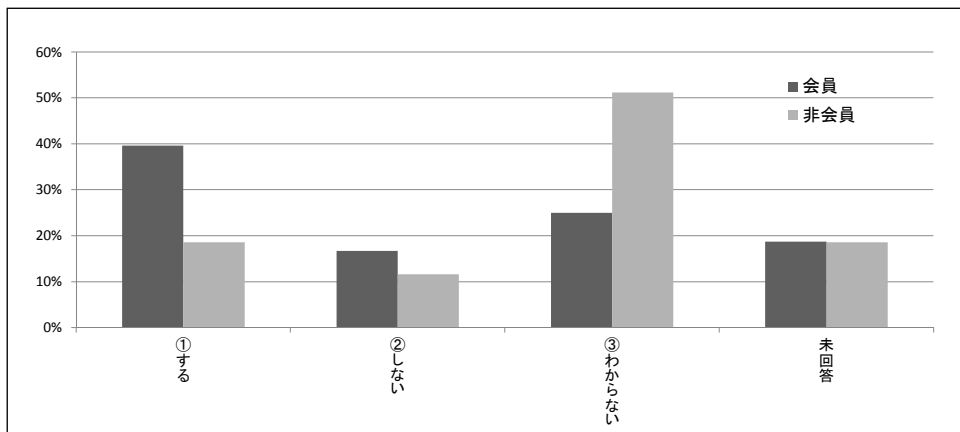
## ④空き店舗対策として望ましいもの

商店会やオーナーが必要な業種や店舗を誘致するとの回答が多く、「市民活動の拠点としての提供」や「催事場や駐輪場などへの活用」は各々10%内外となっています。



#### ⑤市民の活動拠点としての提供意思

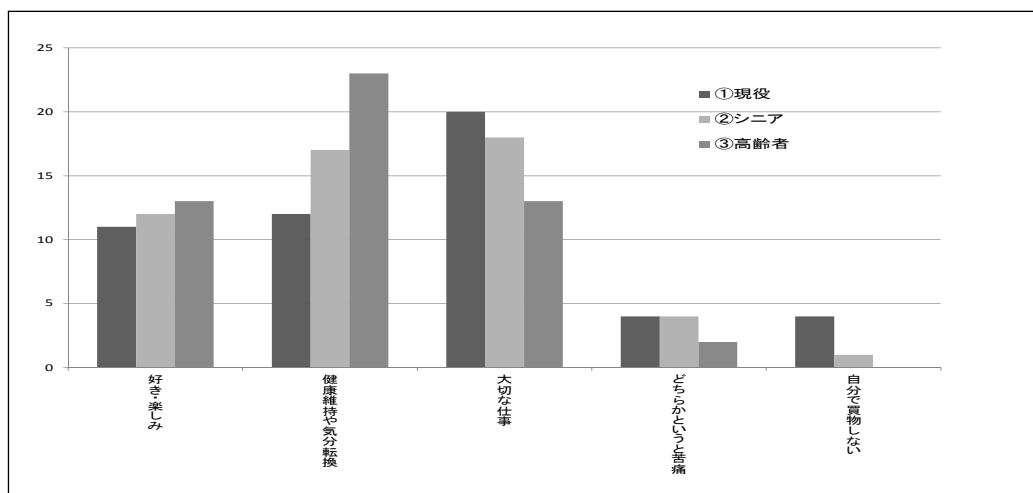
商栄会会員では「提供する」との回答が40%となっていますが、非会員は20%を下回り、逆に「わからない」との回答が50%です。



## 【住民アンケート】（独自の設問のうち抜粋）

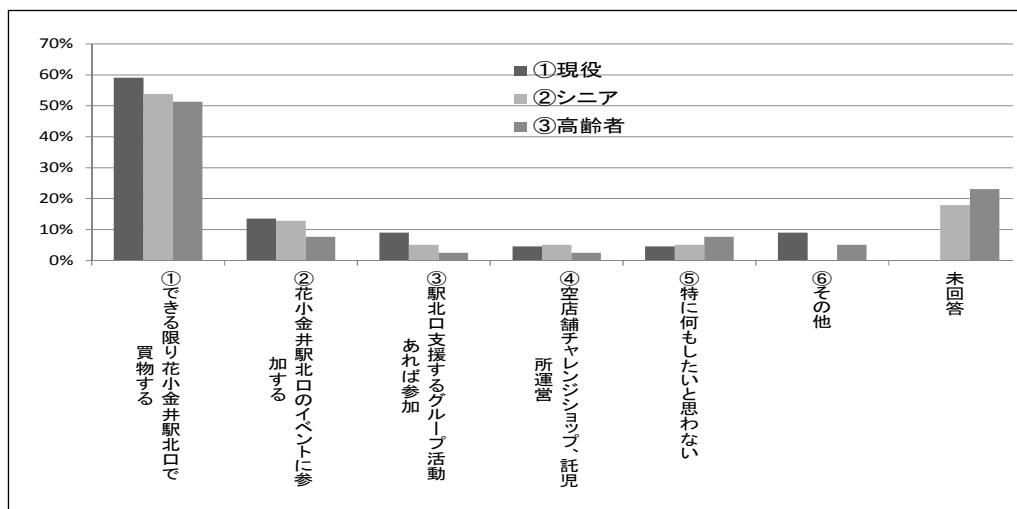
### ①買い物に対する考え方

階層別には、現役世代は「大切な仕事」が第1位で、次いで「健康維持や気分転換」「好き・楽しみ」となっています。一方で高齢者は「健康維持や気分転換」が第1位、シニア層は、各々中間となっています。



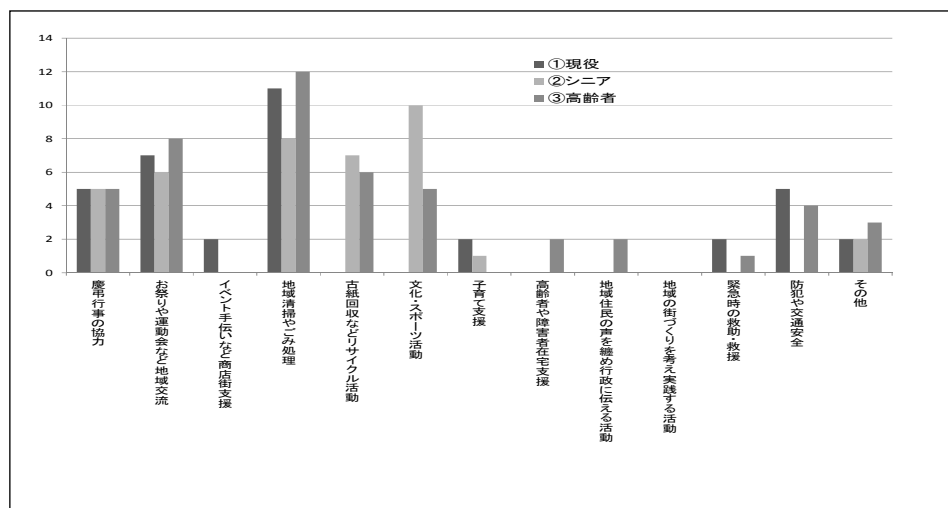
### ②活性化のためにできること

各階層とも「花小金井駅北口で買い物をする」が50～60%とダントツの1位となっており、次に「イベントに参加する」であるが、10%内外で大きな開きがあります。



### ③ 普段かかわっている活動

現役と高齢者層は「地域清掃やゴミ処理」で第2位が「地域交流」となっています。一方、シニア層は「文化スポーツ活動」が第1位です。



### 【ワークショップ参加意向】

各アンケート（街頭アンケート除く）とも、設問への回答と併せ、ワークショップへの参加希望者は連絡先を記入するよう求め、下記の連絡をいただきました。

市民	10名（男7名、女3名）
事業者（商栄会会員）	10事業者
〃（〃非会員）	9事業者

### 3. ワークショップの開催とイベント企画の検討

地域住民と商店街の事業者の双方にとって「存在価値のあるコミュニティとはどのようなコミュニティか」、また、「存在価値のあるコミュニティを形成するために地域住民と事業者はそれぞれ何ができるか」等についてオープンに意見交換するために、ワークショップ（住民と当該商店街の事業者の方々との議論の場としての意見交換会）を3回開催しました。ワークショップ参加者を以下の方法で募集しました。

- ①事業者アンケートシート
- ②地域住民アンケートシート
- ③市報こだいら
- ④市民団体、嘉悦大学への声掛け

その結果、下記「ワークショップ開催経過」に示すとおり、延べ24人の地域住民、事業者、学生、市職員の方にご参加いただきました。

#### 【ワークショップの開催経過】

	開催日時	開催場所	参加者	テーマ
第1回	9月7日(土) 19時～21時	小平市東部 市民センター	地域住民：4名 事業者：3名 嘉悦大生：3名 市役所：1名 当NPO：6名	①アンケート調査結果から見る花小金井北口（商店街） ②花小金井北口地域・商店街の現状と「ありたい姿」とは？
第2回	9月21日(土) 19時～21時	小平市東部 市民センター	地域住民：4名 事業者：3名 嘉悦大生：3名 当NPO：6名	①花小金井北口地域・商店街を「ありたい姿」にするためのモノ・コトとは？
第3回	10月19日(土) 19時～21時	花小金井 南公民館	地域住民：3名 嘉悦大生：1名 当NPO：3名	①イベント提案

#### (1) 第1回ワークショップ

初めに主催者である特定非営利法人 t n c 中小企業支援センターより、住民・来街者・事業者を対象に実施したアンケート調査から、住民・事業者の横顔、住民の買い物状況、花小金井北口（商店街）の良いところ・問題点、事業者の悩みなどの調査結果を報告しました。

次に、参加者が2班に分かれ、班ごとに花小金井北口地域の現状についてフリーディスカッションを行いました。参加者からは、次のような意見が出されました。

### 【住民や学生の意見例】

- ・ 商店街ににぎわいが無い
- ・ いろいろな多様性に富んだ商店が少ない
- ・ 高齢者には買い物に便利とは言えない
- ・ 生活に必要な施設が充足していない
- ・ 商店街には一体感がない、まとまりがない
- ・ 商店街が地理的に大きくなっただけで特徴がない
- ・ 学生にとってこの町は楽しくない
- ・ 事業者は商店街活性化に積極的ではないのではないか

### 【事業者の意見例】

- ・ 経営者はイベントの支援まで手が回らない
- ・ 事業者は継続して地域のために活動する余裕がない
- ・ 経営者も高齢化し、自事業で手いっぱいである
- ・ 長期に時間を要する活動をおこなう程体力がない
- ・ 活性化のためのイベントは一過性だ
- ・ 住民は商店街の活性化に興味がない
- ・ 商店街は一枚岩で活動できていない
- ・ 町会の活動が停滞している

### 【ワークショップ風景】



更に、出された意見を花小金井北口地域及び商店街の課題として整理しました。そこから地域及び商店街の「ありたい姿」を議論しました。2班の議論は、以下の「ありたい姿」に集約されました。



- ・憩いの街
- ・個性的な街
- ・地産地消でにぎわう街
- ・顔の見える商店街
- ・高齢者に優しい街
- ・バランスの取れた商店街
- ・一体感の感じられる街・地域
- ・意欲を掻き立てる支援ができる
- ・高齢者への配慮
- ・外部資源の活用

## (2) 第2回ワークショップ

前回同様、2班に分かれグループワークに取り組みました。

まず、第1回ワークショップで集約された花小金井北口地域及び商店街の「ありたい姿」の具体的イメージ（モノ・コト）を可能な限りリストアップしました。

次に、その中から、地域住民、学生、事業者が主体的に取り組めるモノ・コトを選択しました。

「ありたい姿」ごとに次のようなモノ・コトが上がりました。

### 【憩いの街・賑わいのある街】

- ・空き店舗を使って集いの場を作る
- ・マスコットキャラクターを活用する
- ・特にイベントをして人を集める

### 【個性的な街・一体感のある街】

- ・イルミネーションの演出
- ・イベントの実施
- ・花小金井の花を決めて街中花いっぱい
- ・ブルーベリーを特産とし多くの人に知ってもらう
- ・園芸（花、植木）を中心としたコミュニティを開く

### 【顔の見える街】

- ・商店街マップの作成
- ・朝市・夕市

### 【高齢者に優しい街】

- ・個店単位でなく集合した商品の発送
- ・空き場所を利用してベンチを設置する
- ・高齢者のための直売所、朝市

### 【方向性】

- ・とにかくその気のある応援隊をつくる。当NPOが応援隊を支援する。

### 【意欲】

- ・地域の人々の意欲づくり

### 【外部資源】

- ・外から応援者を募集する。

### 【「ありたい姿」のモノ・コト出し】



### (3) 第3回ワークショップ

第3回の目的は、花小金井北口地域活性化のための具体的取り組みを決定することです。今回のモデル事業では、市民参加の応援隊が地域活性化に取り組むことを想定しています。過去2回のワークショップに参加していただいた地域住民と学生に参加いただき、議論を行いました。

結論として、以下の2つの取り組みをワークショップ参加住民、学生、当NPOおよび市報での公募者で実施することを決定しました。

#### 「商店街を花で飾ろう」

花小金井駅周辺及び協力事業者店舗にハンギングバスケットを設置し、季節の花を飾る取り組み

#### 「街角ギャラリー」

花小金井駅周辺店舗をギャラリーに見立て、地元小学校生徒や地域住民、学生の作品を一定期間一斉に展示する取り組み

#### (4) ワークショップの成果と今後の課題

事業者アンケート調査結果からもわかるとおり、自事業に手いっぱい且つ高齢化が進む地元事業者だけでは、地域の活性化、特に商店街の活性化は難しいのが現実です。一方、阪神・淡路大震災以降、いざという時に「地域の絆」がいかに重要であるか人々が気づきつつあります。また、何らかの形で社会貢献をしたいという主婦、アクティブシニア、学生などが増えています。

そこで、これの人たちと事業者とが地域の課題を共有することで地域活性化の取り組みに主体的に参画してもらうことがワークショップ開催のねらいでした。

以下の事実からワークショップのねらいは達成できました。

- ①主婦、アクティブシニア、学生にワークショップに参加していただいたこと、
- ②参加者が自ら取り組みの主体になることを前提にイベントを決定したこと

一方、参加人数の点では、当初の目標を大きく下回りました。特に、参加事業者の少なさが出席した地域住民、学生から問題視されました。事前巡回時には10事業者ほどから出席の了解をいただいていたのですが、結果的に多くの事業者から出席をいただけませんでした。

今後、花小金井北口地域、あるいは他の地域で同様の取組を行う際には、潜在的な参加者にいかにアプローチし、いかに多くの参加者を獲得するかが最大の課題と言えます。

## 4. イベントの実施

### (1) イベント企画の決定と応援隊の募集

ワークショップの検討結果を踏まえて、イベントの詳細検討と関係先との協議を並行してすすめました。

1月18日（土）にはワークショップ参加メンバーに再度集まっていたいただき、詳細内容の整理を行うとともにイベントへの協力を依頼しました。

一方で、「市報こだいら」（2月5日号）への「元気な街づくりサポーター募集」案内掲載やワークショップメンバーや大学生を通じた募集など、応援隊の募集を広く呼びかけました。市報では2名から問合せを受け、結果的に1名の市民に参加してもらえることになりました。

### (2) 各イベントの取り組み経過

#### 【商店街を花で飾ろう事業】

小平市の花を飾る活動は、既に種々な活動があり、区別するために「商店街を花で飾ろう」としました。

「商店街を花で飾ろう」の提案書（企画書）の一部を示します。

#### 【「商店街を花で飾ろう」の提案書（企画書）】（抜粋）

提案：「ハンギングバスケットを街中に飾る」

- 1) 予算の許せる範囲で、ハンギングバスケットを購入して適当な場所に設置する。
- 2) 「小平市園芸組合」あるいは町の花屋さんにご相談して、適当な花を決め、購入手続きを行う。
- 3) 賛同者に相談して、設置する場所を決める。  
ハンギングバスケット設置を希望される家、店舗や公共的施設（街路灯、フェンスなど）との折衝、承諾を得ておく。
- 4) 設置作業や設置の手順を賛同者に相談して決めておく。必要な掛け金等も準備する。
- 5) 表示事項（設置責任者名、連絡先、設置期間、設置目的等）を決め、表示板を作成添付して設置する。
- 6) 手入れ、取外し時期など相談して決めておき、手入れ、取外しを行う。  
さし当り今年度事業であるから、H26年3月末には取外し、処分することとする。

この提案書をもとに、今回のモデル事業の提案団体である当NPOが関係先と接触して、依頼と打ち合わせ等を行い、実現できるようにすすめて行きました。

ハンギングバスケットの設置場所は、西武鉄道殿の協力で花小金井駅北口のフェンスへの掛け置き（33個、風で飛ばないように園芸針金で固定）と参加協力いただいた33事業者の店頭などでした。

具体的な経過は以下のとおりですが、事業者への協力依頼巡回訪問、ハンギングバスケットへの花植えには、地域住民の方（応援隊）にも参加いただきました。

【「商店街を花で飾ろう」取り組み経過】

No	時期	実施内容	参加者
1	2013/11/02	提案書を作製。その後部内で検討。	当NPO:1名
2	2013/11/06	市役所産業振興課へ提案書説明、了承を得る。	〃 :2名
3	2013/11/20	花小金井商栄会長と面談、提案書を説明、了承	〃 :1名
4	2013/11/21	市役所産業振興課に「小平市園芸組合」の紹介依頼。	〃 :1名
5	2013/11/25	花小金井図書館長訪問。活動内容を説明、協力要請。	〃 :1名
6	2013/12/02	東京むさし農業協同組合小平支店指導経済課を訪問、苗購入協力を依頼。	〃 :2名
7	2013/12/19	花小金井商栄会長と面談、西武鉄道のフェンスに花を飾る案浮上	〃 :1名
8	2013/12/29	西武鉄道花小金井駅へ申し入れ。	〃 :1名
9	2014/01/16	西武鉄道のフェンス利用には、みちづくり課の了承が必要であること判明。	〃 :1名
10	2014/01/17 01/24	みちづくり課へ内容説明。本年度に限り許可の方向となる。後日、道路占用申請書を作製、産業振興課から提出、許可された。	〃 :2名
11	2014/01/26 ～02/09	事業者への協力依頼巡回訪問。 未確定店は、その後継続訪問。33店参加。	住民 :2名 当NPO:8名
12	2014/02/05	小平市報にイベント案内と応援隊募集記事掲載	
13	2014/02/14 02/23	東京むさし農業協同組合小平支店指導経済課訪問、苗(ハンジー、テージー全270本)購入確定。その他資材一式購入手続き、作業準備完了。	当NPO:2名
14	2014/03/01	ハンギングバスケット(90個)へ苗植え付け、フェンスへ取り付け、参加店へ配布。	住民 :2名 当NPO:8名
15	2014/03/01 ～03/30	ハンギングバスケットを西武鉄道花小金井駅北口フェンス、参加店店頭に設置、展示。	当NPO:7名
16	2014/03/30	ハンギングバスケット展示撤去予定。	

なお、ハンギングバスケットには、下記のカードを取り付け、設置目的や責任者の連絡先を明示しました。

フェンス、店頭に設置・展示中には、天候の様子を勘案して、市民参加者や当NPOの担当が水遣りなどの点検を行いました。

設置目的や責任者の  
連絡先を明示したハン  
ギングバスケット  
に添付のカード

このハンギングバスケットと設置は、平成 24 年度採択・平成 25 年度実施の “小平市いきいき協働事業” で、元気な街づくりに向けた「市民参加の応援隊による地域活性化モデル事業」の活動の一つです。

設置期間：平成 26 年 3 月 1 日～3 月 30 日

設置責任者： 特定非営利活動法人

t n c 中小企業支援センター

連絡先： 花飾り担当 小山 泰

電話 042-342-5887

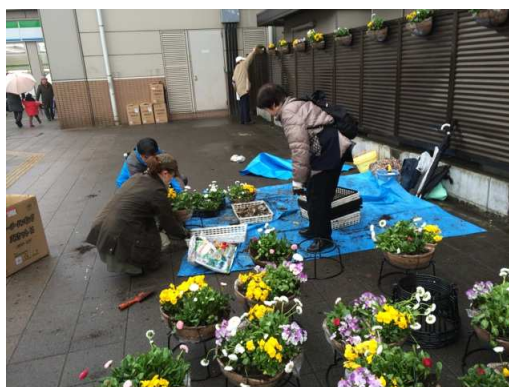
本来ハンギングバスケットは、壁やフェンスなどに掛けて飾るものですが、店頭などに掛ける場所の無い事業者には、架台(プランタースタンド)を付けて提供しました。

設置直前になってから、フェンスへの設置数に変更が出て、予定数量の変更が叶わなかったため、架台(プランタースタンド)取り付けの場合、ハンギングバスケットが1個のものと2個のものが混じっています。

協力事業者の一覧は次ページのとおりです。

通名	ビル名	事業者名	事業	花	台
一番街		ナポリ洋菓子店 (KUNIHURO)	物販 洋菓子	○	要
一番街	K&K ビル	クローゼット	物販 洋品	○	要
一番街	金城ビル	つのぶえ	喫茶店	○	要
一番街		上原薬局	物販 薬	○	要
一番街	Seibu ビル	ぎょうざの満州	物販 惣菜	○	要
市民センター北	カーサ・T	杏's Café	飲食	○	要
一番街		北進ランドリー	クリーニング	○	要
一番街		水口酒店	物販 酒	○	要
駅前	いなげや	いなげや	生鮮スーパー	○	不
駅前	いなげや	マクドナルド	飲食ハンバーガー	○	不
駅前通東		むらのや	物販 各種	○	要
さくら通り	しのぎきビル	しのぎき化粧品店	物販 化粧品	○	要
さくら通り	西部土地建設ビル	西部土地建設	不動産	○	要
ふれあいこみち		中華しまむら	飲食 中華	○	不
駅前通	プリンスマンション	(有)共立商事	不動産	○	要
駅前通	プリンスマンション	錦乃 カレーとラーメン	飲食 中華	○	要
駅前通		趣味の器たか木	物販 陶器	○	要
ふれあいこみち		理容ニューヤング	理容	○	要
ふれあいこみち		ミモザ美容室	美容	○	要
ふれあいこみち		栄信軒	飲食 中華	○	要
駅前通東		アベイユ	物販 パン	○	要
さくら通東奥	第二吉川ビル	ハウディ	美容	○	要
駅前通東		クリーニングきたがわ	クリーニング	○	要
駅前通		和田輪業	物販 輪業	○	要
一番街	花小金井駅前ビル	ドトールコーヒーショップ 花小金井店	喫茶店	○	要
市民センター北	クリアビル	Apachio	美容	○	要
市民センター北	クリアビル	ワンドロップ	卸 衣料品	○	要
青梅街道		T2ショップ かどまん	物販 食料品	○	要
市民センター北	花小金井ビル	メンデザイン	飲食	○	要
駅前	K&K ロイヤルビル	中華の東秀	飲食	○	要
駅前通	武蔵野プラザ 花小金井	ファイン	物販 カネ	○	要
一番街		りそな銀行	金融	○	要
駅前	駅ビル	銀座コージーコーナー	物販 菓子	○	要
			合計	33	30

【準備風景】



【各店舗や北口ロータリーへのハンギングバスケット設置風景】





## 【街角ギャラリー】

下記に「街角ギャラリー企画書（一部抜粋）」を掲載します。

本企画書をもって小平市立第五小学校の校長先生を訪問、本取組への協力をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。「街角ギャラリー」の展示作品として同校 3 年生児童 74 名が三学期に図工専科で取り組んでいる「いろいろ版画」をご提供いただくことになりました。次ページの表に「街角ギャラリー」取り組み経過を示します。

今回のモデル事業の提案団体である当NPOが企画立案、小学校との交渉、作品展示事前準備等の段取りを行い、事業者への協力依頼巡回訪問から地域住民に参加いただきました。

### 【街角ギャラリー企画書(一部抜粋)】

<p>小平いきいき協働事業</p> <p><b>「街角ギャラリー」 企画提案書</b></p> <p>特定非営利活動法人 tnc中小企業支援センター</p>	<p><b>街角ギャラリーとは？</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 花小金井駅構内や駅周辺のお店を 園児・生徒・学生・市民みんなのギャラリーに</li><li>● 毎回テーマを決めて一斉にアート展示 5月は、町じゅう「おかあさんの似顔絵」でいっぱい！</li></ul>  <p>お店のショーウィンドウに</p>  <p>花小金井駅コンコースに</p>
<p><b>街角ギャラリーの目的は？</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 潤いのある街づくり 店先の「お母さんの似顔絵」にこぼれる笑顔、弾む会話</li><li>● 個性的な街づくり 市民アートであふれる街、花小金井</li><li>● 一体感のある街づくり 5月の花小金井は「お母さんの似顔絵」でいっぱい！</li></ul> <p><b>花小金井駅北口地域が元気になる！</b></p>	<p><b>街角ギャラリーの参加者は？</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>地域住民・学生</b> 絵画や写真など趣味の会や大学の写真部などの発表の場</li><li>● <b>近隣の幼稚園、小学校</b> 授業の一環で「母の日」「敬老の日」などに似顔絵描き 事業者・市民との連携で地域の子育てカUP</li><li>● <b>花小金井駅北口周辺の事業者</b> 市民アート展示で顧客とのコミュニケーション機会UP</li><li>● <b>西武鉄道</b> 話題の提供と駅の顔づくりに</li></ul>

【取り組みの経過】

No	時期	実施内容	参加者
1	2013年11月28日	小平第5小学校を訪問し校長先生に協力依頼を行い、基本了解をいただく。	当NPO:1名
2	2013年12月24日	小平第5小学校校長先生と「街角ギャラリー」への作品提供について打ち合わせ。「いろいろ版画」提供決定	〃 :2名
3	2014年1月26日・ 2月2日	事業者への協力依頼巡回訪問	地域住民:2名 当NPO:8名
4	2014年2月5日	市報こだいらにイベント案内と応援隊募集記事掲載	
5	2014年2月24日	小平第5小学校より「いろいろ版画」受取り	当NPO:1名
6	2014年3月1日	「いろいろ版画」台紙貼り付け等展示準備 展示協力事業者への作品引き渡し	地域住民:2名 当NPO:8名
7	2014年3月16日	展示協力事業者からの作品回収	当NPO:7名
8	2014年3月17日	花小金井第五小学校への作品返却	〃 :2名

次ページに協力事業者一覧を示します。花小金井駅北口周辺の31事業者にご協力をいただきました。

また、個人情報保護の観点から各児童の作品掲示場所(事業者)については、小学校から父兄にお伝えいただきました。

【協力事業者一覧】

通名	ビル名	事業者名	事業	枚数
一番街		ナポリ洋菓子店 (KUNIHURO)	物販 洋菓子	3
一番街	EMERALD BLD.	マツモトキヨシ	物販 薬	3
一番街	金城ビル	つのぶえ	喫茶店	3
一番街	Seibu ビル	ぎょうざの満州	物販 惣菜	3
市民センター北	カーサ・T	杏's Café	飲食	1
一番街		北進ランドリー	クリーニング	2
一番街		水口酒店	物販 酒	1
駅前通	ロイヤルパークス花小金井	L A V E R D E 花小金井	飲食	1
駅前	いなげや	いなげや	生鮮スーパー	14
駅前	いなげや	マクドナルド	飲食ハンバーガー	4
駅前通		駅前郵便局	郵便局	6
駅前通東	清川ビル	清川	飲食	2
駅前通東		むらのや	物販 各種	2
さくら通り		まるぶん	物販 文具	2
さくら通り		ヘアーサロン モリ	美容	1
ふれあいこみち		中華しまむら	飲食 中華	2
駅前通		趣味の器たか木	物販 陶器	1
ふれあいこみち		理容ニューヤング	理容	1
ふれあいこみち		ミモザ美容室	美容	1
ふれあいこみち		栄信軒	飲食 中華	1
さくら通東奥	第二吉川ビル	ハウディ	美容	2
駅前通東		クリーニングきたがわ	クリーニング	1
駅前通		和田輪業	物販 輪業	1
市民センター北	クリアールビル	A p a c h o	美容	1
市民センター北	クリアールビル	ワンドロップ	卸 衣料品	1
市民センター北	花小金井ビル	メンデザイン	飲食	1
駅前	K&K ロイヤルビル	中華の東秀	飲食	1
駅前	駅ビル	魚力	飲食	3
駅前通	武蔵野プラザ花小金井	ファイン	物販 惣菜	1
一番街		りそな銀行	金融	6
駅前	駅ビル	銀座コージーコーナー	物販 菓子	2
			合計	74

また、協力事業者の皆様には展示作品をよく管理していただき、全作品を無事、小学校へ返却することができました。

### 【準備風景】



### 【事業者店頭での展示風景】



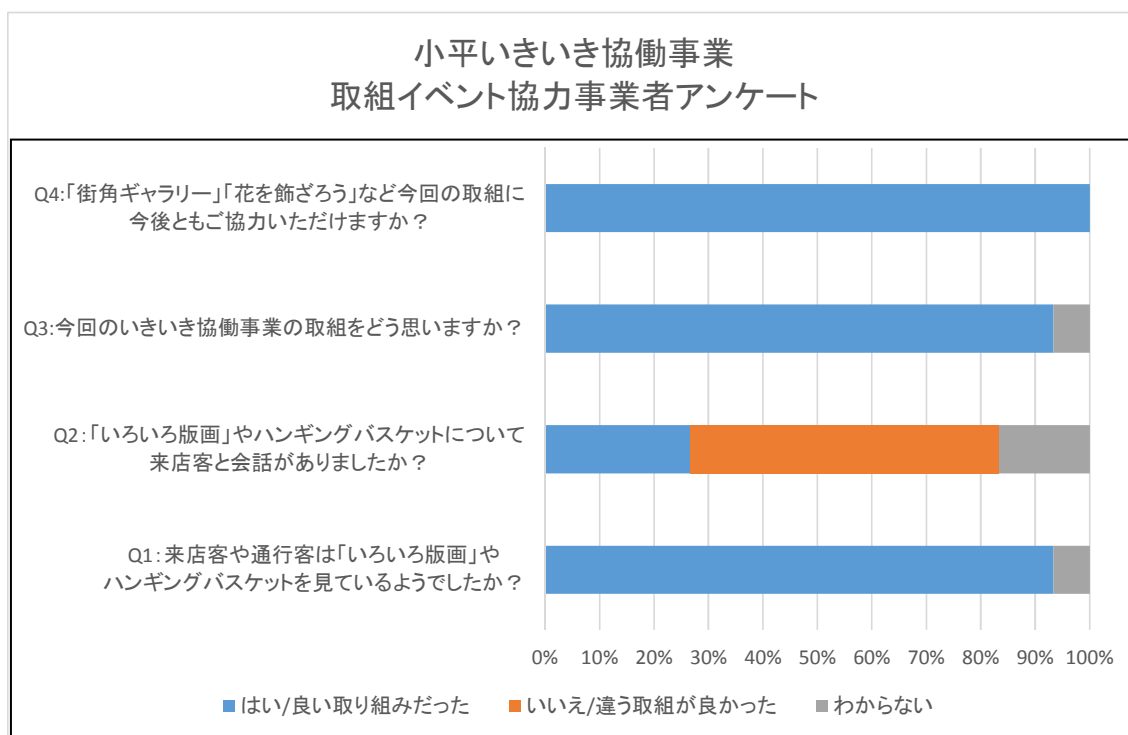
### (3) 協力事業者等の反応

3月16日の「街角ギャラリー」の版画撤去時に、ご協力いただいた31事業者中、ご回答をいただいた30事業者のアンケート回答結果を下記に掲載します。

ご協力いただいた31事業者中28事業者が、児童の展示作品を見に来られていたと回答しています。また、通行客が立ち止まって見ている姿もよく見受けられました。しかし、来店客との話題になった店舗は8店舗のみでした。事業者と来店客とのコミュニケーションの活性化という当初のねらいは十分には達成できませんでした。

今回の取り組みは、28事業者に「良い取り組みだった」との評価をいただき、また、全事業者に今後のご協力をお約束いただきました。

#### 【イベント協力事業者アンケート結果】



このほか、協力事業者から以下のようなご意見もありました。

#### 【共通】

- ・花の説明カードが小さく、また版画も掲示だけでは何の取り組みなのかわからない。特に「小平いきいき協働事業街角ギャラリー」の掲示も合わせてしたほうが良かった。
- ・取組の宣伝が不足している。新聞の折り込み広告等で知らせてほしかった。

#### 【花で飾ろう】

- ・店頭に1個だけでは目立たなく、また寂しい。
- ・ハンギングバスケットの外側が土で汚れていて見栄えが悪い（1店舗から連絡を受け即撤去した）

### 【街角ギャラリー】

- ・道路に面して掲示すると来店客が見ないで入ってくることが多い。店舗内に掲示すれば来店客との話題になりやすい。
- ・FC東京のフラッグのように街路灯に吊るすような掲示が良いのではないか。

### (3) 取り組みの成果と今後の課題

二つの取り組みとも、協力事業者の皆様にご好評でした。  
個別には以下のとおり整理できます。

#### 【花で飾ろう事業】

歩行者の多い駅前ロータリーで土曜日朝から準備作業を行ったことから、遠くの通行人から声を掛けられ、感心する方もおられました。販売は何時からかと尋ねる方もおられるなど、街角に花を飾ることには、関心を寄せる多くの方がいらっしゃることを実感しました。ワークショップでアイディアの理由として挙げられた「花小金井」の名前にふさわしい取り組みだったと言えるでしょう。

植栽は生ものであることから、設置・展示に協力いただけない事業者もいらっしゃいましたが、多くは喜んで参加いただけました。街をいきいきさせるためには、議論するだけでなく、とにかく実行することが大切であると、励ましてくださる方もいらっしゃいました。西武鉄道殿からは、フェンスにハンギングバスケットを掛けることについて、好意的に了解して頂きました。

ただし、フェンスの北側が小平市の歩道であることから、道路法の規定が適用され、産業振興課からの道路占用申請により、今年度限りの道路占用許可が必要でした。使用自体も、小平市から今回限りの使用で許可をもらったものであり、今後は掲示ができず、基本は各事業者の店頭が中心となります。

#### 【街角ギャラリー】

作品をご提供いただいた小平市立第五小学校の校長先生からも児童生徒の作品が街中に展示され、市民に見てもらうのはとても良いことと評価いただき、今後とも協力いただけることになりました。

今回初めての取り組みでしたが、展示場所の確保、展示作品の確保には一定の目途がつかしました。

ワークショップからイベントまで参加していただいた市民の方から以下のような感想をいただきました。

地域住民と事業者が地域を元気にするためにできる知恵を探すという目的で開催され約半年。手始めに出来ることからとして駅前と店舗前にハンキングバスケットの花飾りや第五小学児童の作品の展示は試みとしてはとても良かったと思っております

t n c 中小企業センターの皆様にはいろいろ活動して頂き、そのご苦勞に敬意を表します。

イベントを振り返ると反省点は多々あると思われ結果を当該事業者の方々や地元住民がどう思っておられるかその評価を検証し、この一回で終わるのでなく次に繋げて行きたいものです。

このような取り組みが地域活性化に効力を発揮するためには、何よりも継続することが必要です。今後、同様の取り組みを継続するための最大の課題は、主体的に取り組む人の確保・組織化です。

各々の取り組み経過で示したとおり、実施するためには、中心的に活動する人員が1名または2名、展示準備、作品展示、回収等ピーク時で10名程度の人員が必要です。今回、参加いただいた地域住民、学生の皆様が核となって継続的に取り組んでいただくことを期待します。

### Ⅲ. 本事業の到達点と今後の課題

本事業は市内の単一エリアでの展開であり、他エリアには当てはまらない点や各々の特殊事情も当然あると思われませんが、年間での様々な取り組みを通じて、以下のとおり成果や課題を整理します。

#### 1. 事業の到達点

##### (1) 市民や学生の参加によるワークショップやイベントの実施

参加者数は限られたものの、3回のワークショップやイベントの準備などに積極的に参加していただきました。そのなかで活発な問題提起もなされ、住民の商店街や地元の活性化に対するスタンスの一部を伺うことができました。また、数多くの具体的なアイデアも出され、問題提起と併せ、今後の活性化を考える上で参考になるものです。

何よりも、関心の高い住民の存在自体が、事業者にとっても大いに刺激になるものと考えます。

##### (2) 地域を盛り上げるイベントの実施

「花小金井」の名にふさわしい「花を飾ろう事業」は各事業者の店頭を彩り、駅前ロータリーのフェンスも色とりどりの花で華やかさを増すことができました。

一方、「街角ギャラリー」は、地元小学校の協力が得られ、これだけ多数の商店に分散して掲示する取り組みは、他所でもこれまで余りなかったものと思われます。一時的であれ、買物という目的以外に子供たちや父兄の目を各個店や商店街に向けさせるキッカケになったと考えます。

##### (3) アンケート実施による商店街の課題整理

商店街に関しては、従来から様々な機会の実態調査が実施されており、今回も同様の設問を設定しましたが、それ以外に、事業者に対しては地域との連携や空き店舗の地域活動への提供といった点、市民に対しては現在関わっている地域活動や地域活性化のためにできることといった点についても調査しました。

市民の側は、「地元での買い物」といった回答以外に強い意向は表れていませんが、事業者側には、地域との連携を重視し、空き店舗があれば提供するといった回答も多いことが改めて確認できました。

##### (4) 事業者や学校等の地域活動への関心の高まり

「街角ギャラリー」においては、地元小学校に積極的に協力をいただき、今後も実施するようであれば継続して作品の提供をはじめ協力する旨、了解をいただいています。一方、事業者においても、上記(2)とも重複しますが、協力いただいた金融機関の支店



や量販店は社内で地域貢献を奨励されているとのことで、積極的に取り組んでいただきました。本部へも報告をあげたそうです。CSR（企業の社会的責任）や広報活動の一環として、今後も地域活性化にとって大きな影響力が期待できます。

## (5) 市内商店街活性化度の評価方法（試案）の整理

事業の対象商業エリア選定にあたって市内の商業集積の実態をみるため評価項目を設定し集計しました。

内容は前述「Ⅱ. 取り組みの経過」のとおりですが、評価項目を再掲すると次のとおりです。

### ○定量評価

評価項目	出所データ等
①各商業集積の商品販売額の増減	商業統計
② 〃 の全小売事業所数増減	〃
③ 〃 の売り場総面積増減	〃
④ 〃 の半径 800m圏内住民一人当たりの年間購買額	国勢調査

### ○定性評価

評価項目	具体的施設や拠点
市民の活動拠点や地域資源の有無	公共施設
	文化施設
	憩いの空間
	大学等教育機関

統計データを活用した定量評価と地域資源等の有無といった定性評価の組み合わせによって評価しましたが、今後、市内商業集積の活性化度をはかり、活性化策等を展開するうえでの一つの目安になるものと考えます。

## 2. 今後の課題

### (1) 活動の中核メンバーや機関の存在

商店会も活動の担い手確保に課題を抱え、各事業者も自店の事業以外に時間を割くのは限界があるため、主体となって取り組みをすすめるのは難しいのが現状です。

一方で市民が主体に取り組む場合には、中心となる旗振り役がどうしても必要となります。今回、イベントの事前準備はさることながら、特に事業者側の意向取りまとめに予想以上に多大な労力がかかりました。当NPOとしても、地元住民や各種団体・サークルなどとのネットワークが薄かったことも市民の参加者集めをはじめ苦勞した背景としてありました。

今回の事業を通じて市民の潜在的なニーズはあることが分りましたが、当地域においても、地域に根差した強力な旗振り役が現れないと、今後の継続は難しいと思われます。

## (2) 商店会活動をはじめ事業者側の取り組み主体（受け皿）の体制

今回2つの事業は商店街全域での面的展開を目指したため、各事業者の意向確認や配布・撤去に多大な労力を要しました。当地域においては、商店会の組織率が5割程度であり非加入事業者への個別確認が必要だったことに加えて、商店会会員でも約100事業者に対しては十分な連携が取れない実態が背景にあります。

事業実施にあたっては、実際の受け皿となる商店会の組織力強化が必要です。

ただし、事業の内容も特定の拠点（例えば空き店舗）でのイベント開催や短期間での実施など、やれるところから実施することは十分に可能です。費用面からも、そのことは言えると考えます。

## (3) 事業者側の理解

上記(2)とも関連しますが、今回、ワークショップに事業者の参加が少なかった点は問題であり、さらにイベントに対しても「売上げに結び付かない」、「店のコンセプトに合わない」、「忙しく対応できない」といった理由から参加を見送った事業者が多くおられました。

主催者側の働きかけ不足もあるとは思われますが、今後、商店会、行政、市民など様々な立場からの働きかけが求められます。

## (4) 地域（他の市民）への広報活動

今回のイベントは来街者に対する広報活動をはじめとする情報発信が不足したとの指摘を受けています。

北口ロータリーで花苗の植え付け作業を実施している時には、多くの通行客から声を掛けられました。

市民参加の活動を行うにしても、大多数は参加していない市民であり、その場の活動を盛り上げ、他の市民にも関心をもってもらい、その後につないでいくためにも広報宣伝活動が重要となります。

今年度、商店街を地区住民のコミュニティの場として位置づけながら活性化をはかるモデルづくりをめざして取り組んできました。上記のとおり課題も多く残りましたが、今後、各地区において市民の力を活用した取り組みが活発化することを期待します。

最後になりましたが、当事業実施にあたり、参加していただいた市民、花小金井北口商店街事業者の皆さま、花小金井商栄会会長、小平第五小学校の校長先生を始め教職員の皆さまなど、数多くの方々にお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

以上